

平成15年度老人保健健康増進等事業

利用者中心の継続的痴呆ケアの実践研究

～一声かけよう～

「あなたにもできる、徘徊のある人にやさしい町づくり」
～痴呆の経過に沿って、徘徊の人と家族を支える～

2004年3月

高齢者痴呆介護研究・研修東京センター

ご挨拶

高齢者痴呆介護研究・研修東京センターでは、厚生労働省の研究助成を受けて（利用者中心の継続的痴呆ケアの実践研究）に取り組んで参りました。

その中でも、今年度は痴呆の人と家族の生活を脅かす事の一つの「徘徊」に焦点をあてて、それを街ぐるみで支える事の検討を重ねてまいりました。

この度、今年度の成果を集約しつつ、一日も早く徘徊で苦しむご本人と家族を街ぐるみで支える取り組みが全国に広がることを目指して、本シンポジウムを開催致します。

本シンポジウムにて発表・検討された、「徘徊があっても痴呆の人と家族が住みなれた町で安心して暮らしていけること」を町ぐるみで支えていく方策に関する事項を各自が持ちかえり、地域の人々や関係者に情報を伝え、それぞれの地域の具体的な取り組みを推進して頂ければと思います。

一人でも多くの痴呆の人と家族があなたの町で安心して堂々と暮らせるために。

2004年3月

高齢者痴呆介護研究・研修東京センター
利用者中心の継続的痴呆ケアの実践研究班

目次

「徘徊ネットワークの歴史 -なぜ生まれ、どう歩んできたか-」	3
最近の行方不明の事例	11
釧路SOSネットワークを利用した200例の分析から	25
徘徊のある人にやさしい町づくり実践報告	
(1)本別地域	
「ブラブラ散歩」できる町づくり(予防と支えあい)	43
(2)茅ヶ崎地域	
「保護からケアサポートへ」(確実なフォローアップ)	55
(3)大船渡地域	
「一人の死を無駄にしない」	61
(4)大牟田地域	
「住民による住民のためのネットワークづくり」	69
「徘徊SOSネットワークへの期待」	73